

## 事業計画書

1	事業名称	地域の掲示板 再生事業（二子玉川街情報プロジェクト）
2	(1)事業の目的	<p>平常時の掲示板/回覧板を魅力あるものとし、かつ災害時にも有用なものとする。</p> <p>一昨年度の協働事業活動を通じ、地域の掲示板を、地域視点での定期的な情報発信といざという時に有用な防災情報をセットにして活用することには一定の理解と評価を得、昨年、多くの人が集まる場所に掲示板自体が少ない現状に対応すべく、小型のA3版の防災ベースシート付きの掲示板キットなどを活用し、より多くの人に認知・理解してもらうための拠点を拡充し、浸透させることでA3版の街情報リーフレットは当初の2,000部から直近では10,000部まで増えることになった。</p> <p>今年はネットを活用し掲示板やリーフレットでは伝えられなかったターゲットや発信できなかった情報を提供し、あわせて、他の地域にも参考になるような手引書（実績事例）も作成する。</p>
	(2)事業の内容 *実施体制や実施手法を含めて記入。	<p>今年度は今までの取り組みに加え、従来の印刷物では実現できないネットを活用した情報発信、MAPデータのアーカイブ、オープンデータの利活用に着手する。</p> <p>さらには他地域での実施に参考になるように、世田谷区と地域とのそれぞれの役割分担などを記載したチュートリアルや手引書（実績事例）の作成します。</p> <p>昨年に引き続き、地域の人々への認知度等のアンケートも実施する予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施体制</li> </ul> <p>24年度から、二子玉川100年懇話会で「街情報プロジェクト」チームを設置。25年度から、町会の掲示板活用「RE デザイン」を推進。引き続き、二子玉川100年懇話会（内「街情報プロジェクト」チーム）が実施主体となり、区と協働していく。編集だけでなく、拠点拡大のための活動（配布・設置作業）、広報活動、調査活動に加え、今年度はネット構築・運用も担える体制づくりを進める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施手法</li> </ul> <p>「街情報プロジェクト」チームと区の担当で隔週をめぐりに定期的に会議を開催。隔月開催の二子玉川100年懇話会で進捗報告を行う。</p> <p>「街情報プロジェクト」チームは二子玉川100年懇話会参加各団体を中心に、区の担当は行政の情報を中心に各種情報を収集し、協働で情報の編集を行う。</p> <p>「街情報プロジェクト」チームと区の担当で掲出・配布箇所の開発・増設、広報・調査活動を協働で推進していく。</p>
	(3)28年度事業完了予定日	平成 29 年 2 月 28 日
3	(1)区の担当課	玉川総合支所地域振興課 地域振興・防災、用賀出張所
	(2)協働する意義・必要性	<p>地域の情報を伝える掲示板ポスターやマップの作成・設置・配布は、一定の成果を得ておりますが、年に定期的に4回発行ということで情報確定が遅れタイミング的に拾いきれなかったタイムリーな情報、紙面の制約で取り上げられなかった情報などが実際に複数ありました。できる限り、街の視点で有用と思われる情報は広く提供していくべきであり、従来のやり方だけでは情報の取舍選択を余儀なくされ結果的に情報提供者との継続的な関係構築などでも障害になりうると感じました。従来の取り組みに加え、ネットでの情報発信も行うことで、より詳細な地域情報の掘り起こしも進めます。</p> <p>MAPデータなどのアーカイブ化。過去に作成したテーマ別のMAPデータは地域にとって貴重な情報として評価され、発行後も必要とされることがあります。そのMAPをベースにしたデータをいつでも閲覧できるようにすることは有用だと思います。</p> <p>また、区などが持つ、埋もれていたデータを掘り起こすオープンデータの利活用。区などの公的機関が保有するオープンデータの利活用することで、紙面だけでは表現できなかった詳細情報も付加しより情報の精度をあげるにも貢献できると考えます。</p> <p>二子玉川地域での成果を他の地域で活用するうえで、参考になるように実績事例を整理します。</p>

協働の必要性及び役割分担	(3) 役割分担	提案団体	二子玉川 100 年懇話会は地域の団体・企業が参加する団体であることで可能となるさまざまな街の情報を収集し、編集する。情報発信者・設置協力者との窓口も担う。ただし編集にあたっては、区の担当者、二子玉川 100 年懇話会会員団体や玉川町会をはじめ、より多くの関係者と協働する仕組みを主体的に構築する。
	(4) 地域の団体との連携	区担当課	区民に最も身近な行政機関である用賀出張所には、警察・消防・社会福祉協議会等から区民周知する情報が集約される。その集約される情報を収集整理し優先性を考えつつ、区民に周知する責務があるため、緊急性やタイムリーな情報等を町会・自治会等と協働して、編集に参画する。 地域振興課は、防災力の強化として避難所運営態勢・訓練等が重要な要素と考えている。そのため、防災に関心の低い区民に対して訓練参加を促すために、災害時における掲示板の在り方、利用方法も地域団体と協働して開発する必要がある。 公共施設などへの掲示拠点拡充の働きかけ。近隣地区（砧）への情報提供なども行う。
4 協働の成果・効果	(1) 期待される具体的な成果や区民・地域への波及効果及びその測定方法		世田谷区の持つ情報と地域が持つ情報を、世田谷区と地域とで協働し編集会議を経て精査することで、地域にとってより有用な情報と成り得ていることは実感しています。また、その情報を世田谷区の協力による公的機関への設置配布と、地域での展開（商業施設や住宅など）を組み合わせることで、波及浸透が進んでいます。 これにネットを活用することでさらに今までリーチできなかった人にも情報を提供することも、今まで発信しなかった情報自体を提供することも可能になり、より地域に根差した情報提供になります。 これまでの成果を他地域でも応用展開できる形にするためには、世田谷区と地域とのそれぞれの役割の明確化、体系化を協働で進める必要があり、成果物としてのチュートリアルや手引書は、他の地域での掲示板再生事業に生かせる他、自治体や地域の協働事業の進め方の指針として広く活用して頂けると思われます。
	(2) 事業の成果の活用方法、将来の展開		・制作の過程で地域の各種団体からの情報提供などで関係が強化されるなかで、各団体とのコラボレーションやワークショップの協働開催なども。（特に A3 版の裏面やネット上では、地域の防災、自然環境、歴史などをテーマにした誌面制作をするため、各分野でノウハウを蓄積した団体からの情報提供・協力が望まれる。） ・ネットにも情報を掲載し（いつでもどこでも情報が見られる）やスマートホン位置情報連動で（そこで情報が見える）情報の即時性の向上と量的拡大に対応する展開。 ・地域と行政が一緒になって街の情報を発信していく本事業を、可能な部分は区内の他の地域にも広げていく展開。
5 その他	* 提案する事業と関連する団体の特徴・専門性や実績、提案や事業実施に向けたアピールなど。		「地域の掲示板再生」は「地域の絆再生」の王道である。 古くから町会の掲示板や回覧板は地域の絆の具象であった。この 2 年余りインターネットやチラシ、情報が氾濫している現代だからこそ、直接的に『町会の掲示板』で伝えていくことはとても価値がある。と考え、安易なネット上での情報発信は回避してきた。今年は、満を持してその実績をもとに、ネットでの情報発信に着手したい。 二子玉川地域で活動する各種団体が一堂に会し情報交換を行う二子玉川 100 年懇話会だからこそ、街にあふれる情報を地域視点で収集し編集し提供することが可能であった。さらに、昨年、世田谷区との協働事業に採用されたことで、二子玉川 100 年懇話会をはじめ地域での活動の評価が高まった。地域の防災・ボランティア・自然保護・歴史など特徴のある団体とも連携し、世田谷区の担当課を通じ、担当外部署からの情報提供なども潤滑になっている。だが、まだ道半ば。今年は、ネットを活用することで、今までの情報の蓄積の再活用、より詳細な情報提供なども進めていき、実際により多くの人に認知・理解してもらい実効性が求められる重要な年となる。今回の協働事業を成功させ、継続的に事業が遂行できる環境を整備も進め、他の地域に少しでも参考になるような取り組みに仕上げていきたい。

## 事業実施スケジュール

時期	内容						
	街情報編集会議(区ご担当含む)	制作・印刷	A1版 町会他 掲示版	A3版 掲示・配布	A3版 回覧版	チャートリアル手引書 実績事例	ネット(PC/SP)
5月			2016春版掲出中				
		~情報収集					
6月		制作	防災情報ベースシート				仕様検討
		1回目(2016夏編)印刷					
			2016夏版掲出	配布・掲示	回覧6/20		
7月							
		~情報収集					
		制作					
8月			防災情報ベースシート				委託先決定
		2回目(2016秋編)印刷		配布・掲示	回覧9/20	構成案	
			2016秋版掲出				
10月				*アンケート実施			
		~情報収集					プレオ-プン(一部)
		制作					
11月		3回目(2016冬編)印刷					
			2016冬版掲出	配布・掲示	回覧11/20		ページラントオープン
12月						完成	
2016年1月			(年初バージョン)				
		~情報収集					
2月		制作	防災情報ベースシート				
		4回目(2017春編)印刷~2/28	2017春版掲出(3/1~)	配布・掲示(3/1~)	*回覧3/20		
	計25回程度	計4回	計4回	計4回	計4回		

## 団 体 の 概 要 書

団 体 名	二子玉川 100 年懇話会		
所 在 地	玉川二丁目 2-1-209	電話番号 FAX	03-3700-0905 020-4623-6164
代表者氏名	芳賀 孝	役職	会長
事業責任者  住所、電話番号・ FAX、Eメールは 公開しません。	氏 名	佐藤 正一	役職 街情報プロジェ クトリーダー
	住 所		
	電話番号 FAX		
	Eメール		
設 立 年 月 (活動開始年月)	平成 20 年 12 月 8 日 (設立総会)		
役員等の構成 及び社員数 (会員数)	<p><b>役員構成・会長(1)・会計(1)・会計監事(1)・司会(1)・事務局(4)</b>  <b>会員</b>          玉川町会、玉川商店街振興組合、二子玉川商店街振興組合、二子玉川振興対策協議会、二子玉川料飲会、二子玉川地区交通環境浄化推進協議会、二子玉川西地区まちづくり協議会、二子玉川鶴寿会、二子玉川郷土史会、玉川消防団第七分団、区立二子玉川小学校、二子玉川小学校PTA、二子玉川小学校同窓会、二子玉川スポーツ少年団、ふたこのよいこサポート隊、玉川ボランティアビューロー、二子玉川東第二地区市街地再開発組合、東神開発株式会社、玉川高島屋S・C、東京急行電鉄株式会社、クリエイティブ・シティ・コンソーシアムなど          フェロー(専門家など)デザイナー・コピーライター・ITスペシャリスト・アナウンサー・フォトグラファー・大学教授など</p>		
主な活動分野	<p>二子玉川 100 年懇話会は、二子玉川駅周辺の町会である玉川町会が中心となって立ち上げた「100 年先を見据えたまちづくり」を考えるための会です。地域の関係団体、小学校や PTA、世田 谷区、玉川警察署、二子玉川にある 2 つの商店街、玉川高島屋 S・C、東神開発、東急電鉄などとともに、2009 年より 2 カ月に 1 回集まって情報交換などを行っています。また、ここでは、まちづくり の課題に取り組む有志によって各種プロジェクトを実施しています。これまでに、新規に加入した世帯へ向けて歴史や地理などの情報を掲載した「ものしりマップ」や災害時に必要な情報をまとめた「震災対策マップ」の作成・配布、震災時の共助の仕組みである「ご近助広場」の構築、町会掲示板の有効活用のための「掲示板リデザインプロジェクト」などの活動を実施してきました。</p>		

<p>主な活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ものしりマップ作成 (2010 年)</li> <li>・ 震災対策マップ作成 (2011 年)</li> <li>・ ご近助広場 (2011 年～)</li> <li>・ 交通安全対策プロジェクト (2011 年～12 年)</li> <li>・ 街情報プロジェクト (掲示板リデザインプロジェクト ほか)(2012 年～)</li> <li>・ 二子玉川通り名検討委員会 (2013 年～)</li> <li>・ 保育環境検討委員会 (2013 年～)</li> <li>・ まちづくり研究会 (2013 年～2014 年)</li> <li>・ 帰宅困難者プロジェクト (2014 年～)</li> <li>・ ちょいまち会 (2015 年～)</li> </ul>
<p>団体の ホームページ</p>	<p>二子玉川 100 年懇話会 街情報プロジェクト  <a href="https://www.facebook.com/futa100machijp">https://www.facebook.com/futa100machijp</a></p>